

2018 年卒  
Vol.7

## 6月1日時点の就職活動調査<速報>

キャリアス就活 2018 学生モニター調査結果—速報— (2017年6月発行)

2018年卒業予定者の採用面接が今月1日に正式に解禁された。

6月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は6割を超える高水準をマークしていたことが分かった。内定率のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

### 6月1日現在の内定状況

- 内定率は63.4%。5月(37.5%)より25.9ポイント上昇
- 前年同期実績(54.9%)を8.5ポイント上回る
- 内定取得者のうち、就職先を決定し活動を終了したのは40.2%
- 未内定者を含め全体を分母にとると、就職活動を終了したのは全体の28.8%

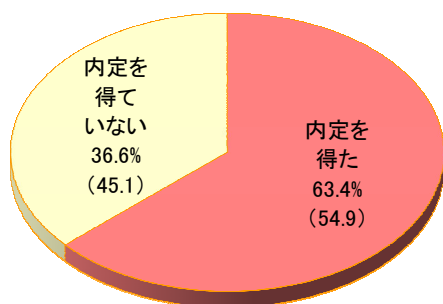
### 6月1日現在の内定状況

就職活動スタートから3カ月。6月1日現在の学生モニターの内定率は63.4%。先月調査(5月1日現在)の37.5%から1カ月で25.9ポイント増と、大きく上昇した。これは前年同期(54.9%)を8.5ポイント上回る数字であり、前年よりも企業の内定出しが早まった様子が表れている。

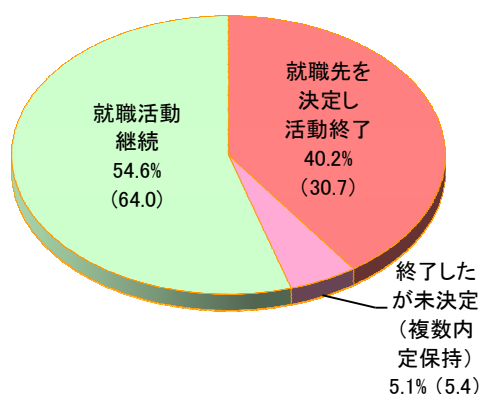
63.4%というのは、5年前の2013年卒者の6月の内定率(62.3%)と同水準であるが(グラフは次ページ)、当時の選考解禁は今より2カ月早い4月1日であったことを考えると、いかに今年の内定出しが早いのがわかる。深刻な人手不足を背景に、優秀な人材の確保に危機感を募らせる企業の姿が透けて見える。

内定取得学生のうち就職先を決めて就職活動を終了したのは40.2%。前年同期(30.7%)を10ポイント近く上回り、就職先決定のタイミングも早まっている。ただし、内定者のうち過半数(54.6%)は就職活動を継続していると回答した。

6月1日現在の内定の状況



内定者の内訳

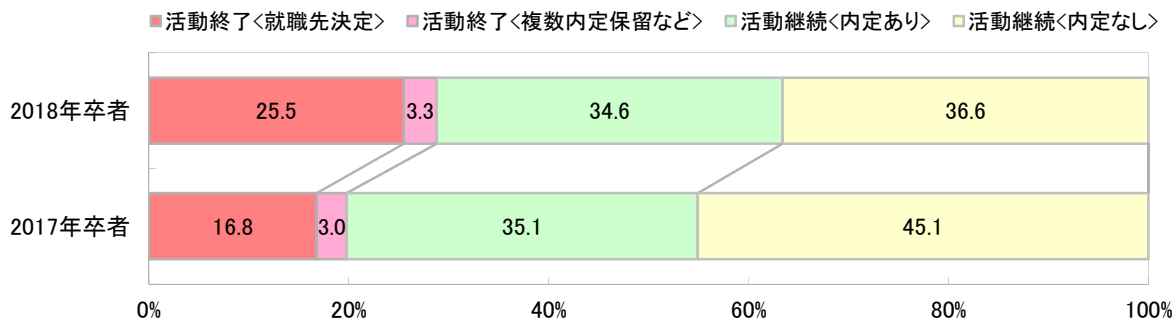


\*「内定」には、内々定を含む

※( )内は2016年の同調査での6月1日現在の数値

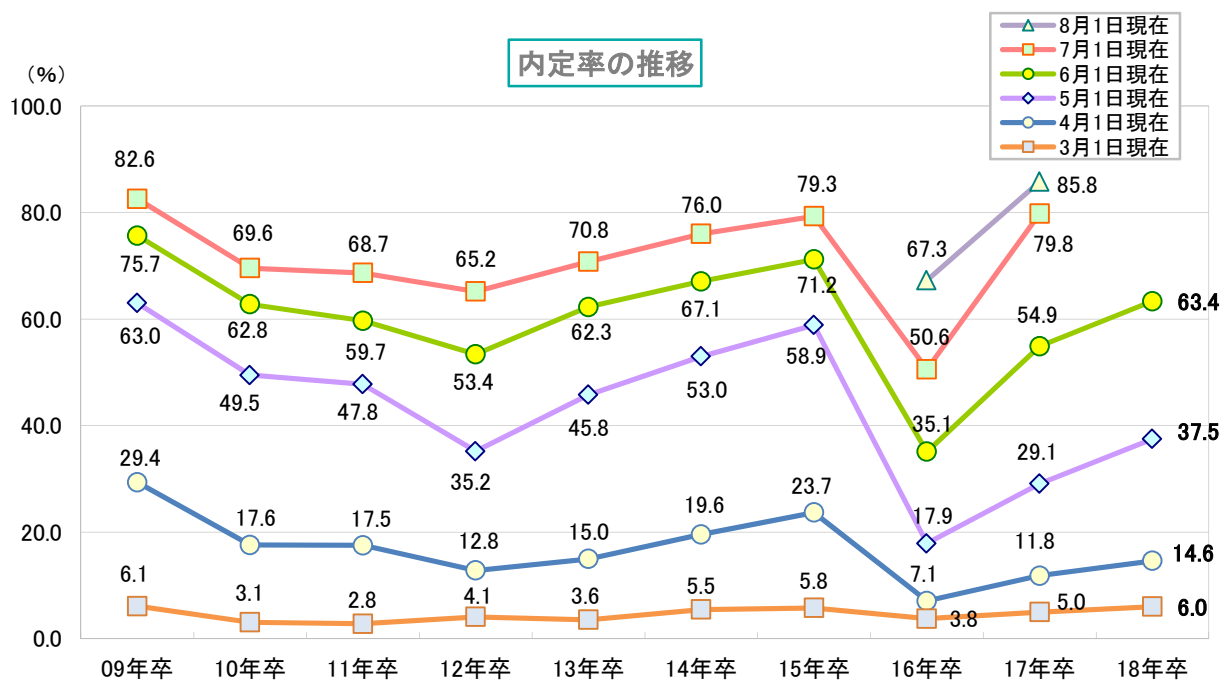
モニター学生全体を分母にとると、調査時点で就職先を決定して就職活動を終了した者の割合は25.5%。複数内定を保留しているなど未決定である者（3.3%）を合わせると28.8%となる。4人に1人に上り、前年同期（19.8%）より9.0ポイント多い。一方で、活動継続者は「内定あり」（34.6%）「内定なし」（36.6%）を合わせて71.2%。内定の有無に関わらず、多くの学生にとって6月が大きな山場であることは間違いなく、この1カ月の動きに注目したい。

### 学生モニター全体の活動状況



### 【参考】

### 内定率の推移



※15年卒までは選考解禁は4月、16年卒は8月、17卒は6月

### 調査概要

- 調査対象：2018年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,259人（文系男子421人、文系女子350人、理系男子325人、理系女子163人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2017年6月1日～5日
- サンプリング：キャリアス就活2018学生モニター（2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」）

◆本資料に関するお問い合わせ先：03-4316-5505 / 株式会社ディスコ キャリアスリサーチ